

ニュース・アリット (入間市博物館情報紙)

18

2001年8月1日発行 第18号
入間市博物館 ALIT

入間市市制施行35周年記念事業 アリット・フェスタ2001 特別展

“煎茶”伝来 ~売茶翁と文人茶の時代~

知られざる“煎茶”の雅趣豊かな歴史と文化の世界



[主な展示資料]

- 隠元隆琦像 喜多元規筆 (黄檗山萬福寺蔵)
- 雪中煮茶詩巻 隠元隆琦他 (黄檗山萬福寺蔵)
- 売茶翁高遊外像 伊藤若冲筆 (個人蔵)
- 売茶翁 自警七律偈、書状 (入間市博物館蔵)
- 木村蒹葭堂像 谷文晁筆 (重文 大阪府教育委員会蔵)
- 四時風月帖 頼山陽・巻菱湖他 (入間市博物館蔵)
- 赤絵金襴手兔唐草文急須 (尾形周平作)
- 青磁玉取獅子文急須 青木木米作 (入間市博物館蔵)
- 紫泥独楽急須 仁阿弥道八作 (入間市博物館蔵)
- 古竹芭蕉蟬彫茶合 張希黄作 (入間市博物館蔵)

[主な内容]

- プロローグ「煎茶前史」
- 第1章「“煎茶”伝来と売茶翁高遊外」
- 第2章「中国文人への憧れ~文人茶の時代~」
- 第3章「青湾茶会と明治・大正の煎茶会」
- 第4章「アリット煎茶器コレクション」



売茶翁煎茶図 (田能村直入筆)

2001年10月30日(火)~12月9日(日)

開館時間：午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料：一般200(160)円/高校・大学生100(80)円

()内は20名以上の団体料金

65歳以上、中学生以下および身体障害者手帳・療育手帳をご持参の方と介護の方1名は無料

[無料観覧日] 11月1日(木)~7日(水) 市制施行35周年記念

11月14日(水) 県民の日

休館日：11月5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)

27日(火)、12月3日(月)

主催：入間市博物館

後援：全日本煎茶道連盟、埼玉県教育委員会、入間市連合区長会、
入間市国際交流協会、入間市観光協会、入間市文化協会、
西武鉄道(株)、西武バス(株)、さいたま放送局、
入間ケーブルテレビ(株)、エフエム入間放送(株)、
(株)テレビ埼玉、FM NACK5

協力：入間市茶業協会、入間市茶道連盟



田能村竹田 遺愛煎茶具

アリット・フェスタ2001特別展「煎茶」伝来～売茶翁と文人茶の時代～」関連事業

本展は、中国明時代の煎茶が江戸時代の日本に伝えられ、^{あうばくそう}黄檗僧や多くの文人たちによって広められ、明治・大正の隆盛期を迎えるに至るまでの歴史を紹介するものです。なかでも煎茶中興の祖といわれ「千利休」とも比される^{ばいさあうこうゆうがい}売茶翁高遊外については、詩や書、煎茶具などから、彼の煎茶に対する精神を探ります。また、木村蒹葭堂、上田秋成、田能村竹田、頼山陽、青木木米ら多くの文人たちが楽しんだ「文人茶」の世界を、彼らの残した絵画や煎茶具から紹介します。

アリットの誇る、多彩な「煎茶コレクション」の世界をお楽しみください。

また、本展にあわせて関連事業を開催します。いずれも煎茶の歴史と文化について、理解を深めていただくためのイベントです(事業名はいずれも仮称)。詳細はチラシや広報「いるま」10月1日号以降でお知らせします。

講演会「煎茶伝来と黄檗山萬福寺」

日 時：11月23日(金・勤労感謝の日)午後2時から(2時間程度)

講 師：大槻幹郎先生(黄檗文化研究所研究員)

会 場：博物館1階講座室

定 員：140名(当日先着順) 参加無料

講演会「煎茶の旅」

日 時：12月2日(日)午後2時から(2時間程度)

講 師：佃 一輝先生(一茶菴流宗家)

会 場：博物館1階講座室

定 員：140名(当日先着順) 参加無料



「煎茶小集」椿椿山

煎茶会「売茶翁 遺徳の茶会」

日 時：11月3日(土・文化の日)午前11時～午後4時(予定)

席 主：煎茶道東阿部流 埼玉支部長 石井雪恵 先生

会 場：茶室「青丘庵」広間

定 員：250名(予定)

茶 券：一席500円(予定/事前申込制)

(協力：全日本煎茶道連盟)

煎茶会体験

日 時：11月11日(日) / 25日(日)
12月9日(日)

各日とも午前11時～午後3時

席 主：人間市茶道連盟加盟流派の方

会 場：博物館1階回廊

定 員：100名

茶 券：一席300円(当日先着順)

ギャラリートーク

日 時：11月10日(土) / 17日(土) / 24日(土) / 12月1日(土) 各日とも午後2時～3時

講 師：当館学芸員(特別展担当者)

会 場：博物館1階特別展示室(特別展会場内)

参 加：当日観覧券をお求めの上、特別展受付前にお集まりください。

対 象：一般(ただし、10日・24日は小学3年生から中学生までの、こども対象となります。)

その他、煎茶関連のハイビジョン番組の上映等を予定しています。

お茶関連事業

～今回は、どんなお茶に出会えるかな?～

日本各地のお茶体験

こんなお茶もありますよ。

【日 時】偶数月の第1日曜日

午前11時～午後4時

【会 場】休憩コーナー

【参加費】無料

【内 容】8月5日(日)熊本県の釜炒り茶

10月7日(日)徳島県の阿波番茶



世界各地のお茶体験

アフリカにもお茶が!

【日 時】奇数月の第1日曜日 午前11時～午後4時

【会 場】休憩コーナー

【参加費】無料

【内 容】9月2日(日)中国の碧螺春(緑茶)

11月4日(日)ケニアの紅茶

21世紀も、
やっぱし、
狭山茶だんべ!

狭山茶 振る舞い

ALITでは、地元のおいしい狭山茶を、無料サービスします。

【日 時】毎週土曜日・日曜日・祝日(第1日曜は除く)

午前11時～午後4時

【会 場】休憩コーナー

【参加費】無料



茶の都ティー・フェスティバル

お茶は、世界各地でたくさんの人々に飲まれています。このイベントは、地元の茶関係団体や入間市とその周辺に在住の外国出身の方に、出身地のお茶を紹介していただき、お茶を掛け橋とした交流を図るものです。

今年も、ステージ・パフォーマンスをはじめ、楽しい関連事業が盛りだくさんです。

子ども達も楽しめます。ぜひおいでください。

【日 時】9月22日(土) 雨天の場合は、内容を変更して実施します。

午前11時30分～午後5時50分

【会 場】市民広場・博物館本館・茶室「青丘庵(せいきゅうあん)」

【参加費】お茶は無料です。

【内 容】市民広場 ワールド・ティー・パーティー(世界各地のお茶を飲もう！)

ステージ・パフォーマンス(世界各地の歌や踊りを楽しもう！)

博物館本館 茶道点前席・華道実演・野田双子織体験実演・ハイビジョン番組上映

茶室「青丘庵」 茶道点前席



昨年のように

月見の茶会 ~ 中秋の名月の下、幽玄の世界で茶会をご堪能ください。 ~

【日 時】9月30日(日) 午後5時～午後9時

(最終茶席は、8時30分開始)

【参加費】一席500円(要申込み)

【申込み方法】往復はがきに、住所・氏名・電話番号・希望の茶席番号を一つ記入して博物館まで郵送してください。

(一席につき、お一人一枚です。)

【申込み期間】9月1日(土)～18日(火) 必着〆切

茶席番号	茶 席 名	茶席の内容	定員
	池の上のステージ席	野点の抹茶席	120人
	池の端席	野点の煎茶席	120人
	茶室「青丘庵」小間席	抹茶席	60人

申込みが定員を越えた場合は、抽選とさせていただきます。



市制施行35周年記念特別展

狂言和泉流二十世宗家和泉元彌秘蔵 狂言装束展

今年で7回目を数える「茶の都薪狂言」にあわせ、和泉流宗家秘蔵の狂言装束や面等の展示会を開催します。和泉元彌氏など和泉流狂言師による講演会、ギャラリートーク、装束着付け体験、狂言ミニ公演を予定しています。“笑いの芸術”狂言の世界に、また一步近づいてみませんか。

【会 期】8月25日(土)～9月9日(日)午前9時～午後5時

(初日は9時30分テープカット。会期中の土曜日・日曜日は午後6時まで。)

【場 所】特別展示室

【観覧料】一般200円・高大生100円 65歳以上、中学生以下および身体障害者手帳・療育手帳をご持参の方と介護の方1人は無料。



茶の都 薪狂言 9月1日(土) 博物館市民広場

今年NHK大河ドラマ「北条時宗」の主役で活躍中の和泉元彌氏が制作する入間市のオリジナル創作狂言の上演が見所です。(お問い合わせは自治文化課まで)

新館長です。よろしく、お願いします。

今年4月から、新任の館長として柳澤康雄(やなぎさわやすお)が着任しました。二十一世紀の新たな博物館運営を念頭に、抱負を語ります。



はじめまして。柳澤です。抱負といいましても、ピカピカ?の一年生の心境です。いくらかは博物館に慣れてきましたが、毎日、勉強に迫られています。なにしろ、お茶をメインテーマとした総合博物館ですから、お茶に関する知識や人間市の歴史、自然の事も頭に入れなければなりません。

ところが、お茶だけでも、お茶の種類、茶会の作法、おいしいお茶の飲み方などなど、覚える事がたくさんあります。それでも、入館者が多い時は、「博物館が必要とされているなぁ。」と嬉しくなり、「もっとたくさんの人達が来てくれるように努力しなければ。」と思いを強めています。三年後にALITは開館十周年を迎えます。

二十一世紀にふさわしい博物館を目指して模索しています。今の考えでは、多くの人や団体に参加してもらい、十周年記念事業が盛り上がり、と思っています。皆さんのアイデアを期待しています。どしどしご連絡ください。

これからも、よろしくお願いします。



テレビにも出演しました。

TOPICS

特集 21世紀におけるALIT(アリット)の課題 その2

第17号に引き続き、今回も博物館ALITが検討中の主要課題を紹介します。何かご意見がありましたら、ALITまでお寄せください。

第三は、「博物館からの情報発信」です。本格的な生涯学習時代が到来し、人間市でもさまざまな市民活動が展開されています。博物館本来の使命は、有形・無形の情報を絶えず市民に提供することです。

ALITでも、展示活動や出版活動などとおして、博物館が所蔵する資料やさまざまな事象に関する情報を提供しています。平成12年8月からは、博物館のホームページも一新され、イベントや施設利用に関する情報をはじめ、所蔵資料の検索などでもできるようになりました。

しかし、内容的には不十分な点も多いので、皆さんの活動に応えられるように充実を図っていきます。



情報検索も手軽に



常設展示室「茶の世界」

第四は、「お茶の博物館」としての充実です。当館は、お茶をメインテーマとした総合博物館であり、ALITのTは、お茶のT(Tea)です。常設展示はもとより、特別展示の開催・調査報告書の出版・茶会などのイベントなどとおして、お茶に関する情報を提供してきました。

これからも、お茶に関する歴史・生活・産業・科学など、広範囲に渡る資料や情報を収集し、あらゆる媒体を駆使して、皆さんに利用していただけるように、充実を図っていきます。

開館から6年を経て、博物館の庭では、頼りなかった木々もたくましく成長し、四季折々の花が見る人の目を楽しませてくれるようになりました。また、カルガモの親子が池を訪れてくれたり、カエルの赤ちゃんたちの行進が見られたりと、予想外の楽しいお客さんも博物館の庭を賑わしています。このコーナーでは、展示や事業などのお知らせの中ではお伝えできない、博物館内外のさまざまな顔やできごとをご紹介します。今号と次号では、特集編として博物館の庭の見所を季節ごとにまとめてご紹介します。

庭のみどころ 春～夏

市民広場の桜

そろそろ見栄えのする大きさになってきたソメイヨシノ。お花見のお客さんも年々増えています。広々とした芝生の広場は市民の憩いの場としてすっかり定着しているようです。



雑木林の小道

博物館が整備される前からあった林の一部。新緑、花の頃、紅葉、冬枯れと、四季それぞれに表情をかえる雑木林。この辺りではなんとキジも目撃されています。



花いっぱい運動の四季の花

ご近所にお住まいの市民の方が丹精こめて育ててくださった花々が四季を彩ってくれます。これから秋にかけてはコスモスが満開に。



体験茶園

今年の3月、前博物館協議会長、故宇佐美昭次氏のご遺族のご好意により整備された茶園です。まだまだ小さな苗木ですが、これからさまざまな事業に活用されていくことでしょう。



茶室前の池

ゆったり泳ぐ鯉の他に、小さな稚魚たちの姿がたくさん見えます。カルガモの親子やカワセミが姿を見せることも。



知ってますか？ アリット 豆知識

- Q1** 博物館の敷地と西武ドーム、大きいのはどちら？
- Q2** 博物館の庭にある木の本数はどれくらい？
(ア) 100本 (イ) 1000本 (ウ) 10000本以上

A1 博物館(約45,000㎡)。西武ドームは39,000㎡で、その差約6,000㎡。ちなみに、東京ドームは47,000㎡弱で博物館より少し大きい。
A2 (ウ) 1年前に調べたときには、約2万本、80種類ほどの樹木を確認(この内の約半数は春から初夏に見ごろを迎えるツツジやサツキ)。自生する草花も100種類近く確認されています。

市民スタッフから、 こんにちは！



取材風景

- 私たち市民スタッフは、このNEWS - ALIT の編集に、第3号から携わっています。試行錯誤を繰り返しながらの5年間を振り返り、今後の展望についても語り合いました。

思い出深い取材

寺西：私は、市民スタッフに加わってまだ2年ほどなので、初期の頃の活動については知らないのですが、思い出深い取材というのがありますか？

鎌田：私は、第5号の「こども科学室」を取り上げた記事の中で、自分の書いたイラストを掲載してもらったのが、嬉しかったですね。それから、第6号で入間市にゾウがいた!？」と題して、アケボノゾウの足跡が発見された現場を、直接取材で訪れたことは、とても楽しかった思い出です。

真鍋：私は、第8号で豊岡大学について取り上げたことが、思い出に残っています。図書館へ行って、色々調べたりしているうちに、私の大好きな羽仁もと子さんが講演にいらしていることがわかって、とても嬉しかったですし、講師として招いたという、当時の人達の進歩的な考え方に大変感動しました。

小暮：私は、『ティータイム』の中で、「茶畑今昔」という題で3回書いたのは、とても思い出深いですね。いろいろなお茶屋さんや、農家の方々にお話を伺ったり、資料を探したりして、大変勉強になりました。

寺西：私は、『学芸員の仕事紹介』というシリーズに関わってきましたが、仕事の内容を知ることができたのはもちろん、学芸員さんの素顔にも接することが出来て、大変貴重な経験をさせていただいたと思います。

壁に直面

小暮：こうして、編集に携わっていると、自分の知的好奇心も満たされて、また博物館側に対して、多少はお役に立っているのではないかと、いう気持ちはありますね。ただ、号を重ねてくると、紹介記事はだんだん難しくなってきた。つまり、展示の紹介をしつくしてしまった、ということになってしまった。ここで、一つの壁に直面した感じがしたね。

悪戦苦闘のコーナー作り

小暮：最初、市民スタッフ募集の記事を見て集まったメンバーが9人。まず、何を、どのように書いたら良いか、とても困りましたよね。

鎌田：やっと決まったのが、『いってみようはくぶつかん・常設展示豆知識』『みたりきいたりためしたり』というコーナーでした。

真鍋：それから、『ティータイム』ですね。

小暮：『いってみようはくぶつかん』は、博物館の展示を皆さんに紹介しようというもので、『みたりきいたりためしたり』は、アリットでやっている様々な体験活動に参加して、その感想を皆さんに紹介しようというもので、『ティータイム』は、お茶に関するちょっとした豆知識をまとめてみよう、ということでしたね。

真鍋：見開きの2ページ分をまかされましたが、ちょっと不安でしたね。

鎌田：コーナーが出来あがってからは、新しく出来た博物館ということで、取材したいことがたくさんあって順調に進みましたね。

学芸員紹介

今井正美さんは、博物館の仕事に関わって13年。ニュース・アリット創刊号から編集に携わり、市民スタッフにとって頼りになる学芸員さんです。中世の村落の研究が専門だそうです。アリットの機能を高めるためいろいろな面で活躍しています。現在、「市民参加型博物館」づくりのために全力投球の由。21世紀におけるアリットを、文化情報の発信基地・学習の広場としてより多くの市民の皆さんに役立つようにするのが目標、と熱い思いをこめて語ってくれました。

(小暮)



今井正美さん

河根：私を感じたことは、紙面がちょっと堅いかな？ということ。興味のある人がいても、読みづらくないでしょうか？博物館に興味のない人をもひきつける、魅力のある紙面を目指していかないと…。

鎌田：だから、面白い記事を書きたいんですけど、それが難しいんですよ。

小暮：何をどのように書くか、なぜ書かなければいけないか、ということ、特に、市民の立場で書くってということが難しいですよ。

今後の展望

寺西：さて、そして、これからはどのように活動していくか、ということですが…。

鎌田：今までみたいに、何か体験したことを紹介する記事だと、掲載されるのが大分後になってしまうんですね。

真鍋：そうですね。これからは、読んで、すぐに博物館へ行ってみたいと思われるような記事を、書いていけたら良いですね。

鎌田：アリットの広報紙であるという性格も、忘れてはいけません。自分の興味だけで書いてはいけません。

真鍋：もっと、いろいろな方のご意見をお聞きしたいですね。

小暮：そうだね。そのために市民スタッフがいるんだから、我々が博物館に来た時に、来館されている皆さんに積極的に声をかけて、その声を反映した記事というのも書いていきたいね。

寺西：それから、このメンバーは、もともと博物館が大好きで、各地のいろいろな博物館を見てまわっていますよね。

河根：他の博物館で楽しんだり、感じたりしたことを、紙面作りにも生かしていきたいですね。

寺西：原点にかえり、博物館というのはなぜあるか、ということも考えていきたいですね。

小暮：私は教師をしていた時、子供達に「6年生になって歴史の勉強が始まりますね、それはなぜ？」と、必ず聞いていたよ。それは、「過去に学び、未来をつくる」ということ。先人達の生活を知ること、現在の自分の生活に関心を持ったり、見直したり、ということにつながるし、未来にもその知恵を伝えていこうということになるね。だから、博物館に来てもらって、見て、感じて、人間としてどうあるべきかを問

いかけてもらうことに、意義があるんじゃないかな。

真鍋：そういう意味で、たくさんの市民の方にアリットを利用していただくために、私たち市民スタッフがお手伝いしていきたいですね。

一緒に活動しませんか？

私達市民スタッフは、一緒に活動して下さる方を募集しています。詳しくは、博物館までお問い合わせ下さい。

市民スタッフ自己紹介

現在主に活動している市民スタッフ5名を紹介します。

鎌田：仕事がスタッフ会議と重なりそうだと、他の社員と交代してもらってでも出席しています。そこまでの価値はあります。楽しいです。

河根：入間市に来て3年目の人間ビギナーです。好奇心だけで市民スタッフを志願して早一年。暖かい先輩達のおかげで、今までやってきました。どうぞアリット共々ごひいきに！

小暮：たった一人の男性スタッフです。どなたか一緒にやりませんか？市民の一人として、地域のためにお役に立ちたいという気持ちです。

寺西：結婚して入間市に越してきました。3歳になる女の子が一人います。子供と一緒に、アリットを楽しんでいたら、と思います。

真鍋：第3号から参加しております。自分の力の無さを感じつつも、若いスタッフの方と楽しんでいます。



市民スタッフ / 左から、寺西・鎌田・小暮・真鍋・河根

TEA TIME

ぜいたくなジャスミン茶を気軽に

知り合いから「茉莉花茶」という中国茶のティーバッグを頂きました。英語で「JASMINE TEA」とあり、ジャスミン茶だとわかりました。

初めてジャスミン茶に出会ったのは、中華料理のレストランでした。食後に飲むと、香りが口の中に広がり、さっぱりとした気分になります。そんなジャスミン茶が家で気軽に飲めるなんて嬉しくて、もう少しこのお茶について知りたくなり、アリットにある本で調べてみました。

ジャスミン茶は「花茶」という種類に分類されます。「花茶」は花を素材にしたお茶のことです。花びらや萼（がく）つきの

花を日干しにしたりくん製にしたりして、それを緑茶などのお茶に混ぜたり、花そのままをお茶と同じように飲み、香りや形・味を楽しみます。

花は満開にならないと香りが出ません。ジャスミンは7月の午前7時頃に満開を迎えるので、栽培農家は明日確実に開くと思われる花だけを前日の午後に摘み、お茶の工場へ送るそうです。工場では満開になった瞬間にお茶に入れられるよう夜中から乾燥の作業をします。ジャスミン茶を作るには昼夜逆転の苦労があると知り、ぜいたくなものに思えてきました。（鎌田）

参考文献：『中国茶読本』島尾伸三(平凡社) / 『お茶の百科』松下智(同成社)

ALIT 行事予定カレンダー 8月から 11月まで

August (8月)

- 1日(水)~14日(火) 学芸員実習受け入れ
- 1日(水)~5日(日) オーモリアート研究所(創作絵画展)(貸出/特別展示室)
- 2日(木)~5日(日) 小野寺道場展(貸出/市民ギャラリー)
- 4日(土) 昔の生活体験教室「たなばた」
- 5日(日) 日本各地のお茶体験「熊本県の釜炒り茶」
夏休み科学教室
「赤土の中のマイクロな宝物~火山灰を観察しよう~」
- 7日(火)~12日(日) 第10回埼玉二科写真展(貸出)
- 11日(土) 学芸員実習企画「アリットクイズ」
- 12日(日) 産地当て闘茶会
- 15日(水)~19日(日) ジープの機能美展(貸出)
- 18日(土) 夏休み科学教室「ピンホールカメラを作ろう」
縄文土器作り講座「土器の焼成」
- 22日(水) 夏休み科学教室「身の回りの物で電池を作ろう」

25日(土)~9月9日(日) 狂言和泉流二十世宗家と泉元彌秘蔵『**狂言装束展**』
【関連事業】講演会「狂言の魅力」 9月2日(日)
ギャラリートーク/装着着付け体験/狂言ミニ公演
8月29日(水)・30日(木)・9月4日(火)

25日(土) 抹茶体験(呈茶)

September (9月)

- 1日(土) 茶の都新狂言(問い合わせ:自治文化課)
- 2日(日) 世界各地のお茶体験「中国の碧螺春(緑茶)」
- 9日(日) いるま「太鼓」セッション2001
(問い合わせ:自治文化課、雨天の場合は、15日に延期)
- 15日(土)・16日(日) 平成13年度 入間市小中学校科学教育振興展覧会(貸出)

22日(土)『**茶の都ティー・フェスティバル**』
【実施内容】ワールド・ティーパーティーとステージ・パフォーマンス(市民広場)
煎茶点前席・抹茶点前席・華道実演・野田双子織体験実演もあります。

20日(木)~23日(日) 第16回入間市美術展「**絵画・陶芸・彫刻**」
(問い合わせ:入間市中央公民館)

27日(木)~30日(日) 第16回入間市美術展「**写真・手芸**」
(問い合わせ:入間市中央公民館)

30日(日)『**月見の茶会**』

October (10月)

- 2日(火)~8日(月) 四彩展(貸出)
- 7日(日) 日本各地のお茶体験「徳島県の阿波番茶」
- 10日(水)~14日(日) 第21回清瀬絵画デッサン会展第2部本展(貸出)
- 13日(土)・14日(日) ハイビジョン手作りソフトフェスタ2000受賞作品上映
- 16日(火)~21日(日) 美術グループ「21の空」美術展(貸出)
- 27日(土)・28日(日) ハイビジョン手作りソフトフェスタ2000受賞作品上映

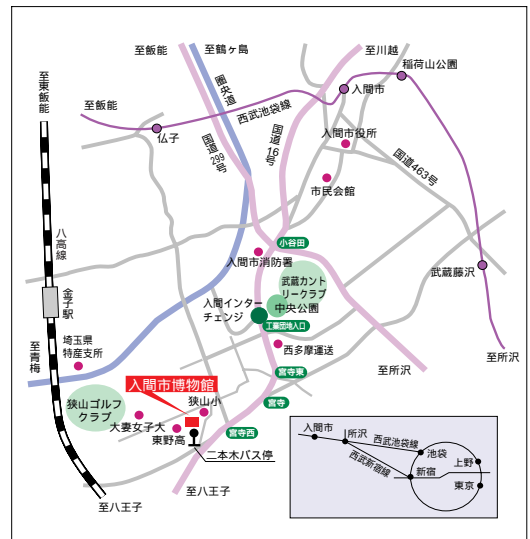
30日(火)~12月9日(日) アリットフェスタ2001 特別展
『**煎茶 伝来~売茶翁と文人茶の時代~**』
【関連事業】煎茶会「売茶翁 遺徳の茶会」 11月3日(土)
ギャラリートーク 11月10日(土)・17日(土)・24日(土)・12月1日(土)
煎茶会体験 11月11日(日)・25日(日)・12月9日(日)
講演会「煎茶伝来と黄檗山萬福寺」 11月23日(金)
講演会「煎茶の旅」 12月2日(日)

November (11月)

- 1日(木)~7日(水) 市制施行35周年記念無料観覧日
- 4日(日) 世界各地のお茶体験「ケニアの紅茶」
- 14日(水) 埼玉県民の日無料観覧日

博物館以外の問い合わせ先
入間市役所各課 042-964-1111 中央公民館 042-964-2413

【交通のご案内】



西武池袋線 入間市駅よりバスで20分
(入間市駅3番乗り場にて乗車)

西武バス入間市博物館行(終点下車)
西武バス二本木蔵前行 箱根ヶ崎駅行
(いずれも二本木停留所下車 徒歩5分)

[新宿からは西武新宿線所沢駅にて池袋線に乗り換え]

入間市駅発 バス運行時刻表 平成13年3月16日改正

時	平日	土曜	休日
7	02 26 43 57	12 33 47	25 50
8	17 20 40	01 17 35 51	15 38 50
9	02 40	15 30	15 30 55
10	00 20 43	00 20 50	30 58
11	00 20	20 53	30 50
12	00 28 50	20 43	05 45
13	20 53	08 26	20 55
14	20 45	00 20 45	25 40
15	10 30 55	02 20 47	05 25 55
16	20 55	10 30	15 35
17	16 35 55	00 10 30 50	00 24 48
18	24 52	17 50	10
備考	黒 入間市博物館行	■ 二本木蔵前行	
	■ 箱根ヶ崎駅行		

(問い合わせ)西武バス飯能営業所 0429-72-4123

関越自動車道 川越インターより車で40分
中央自動車道 八王子インターより車で50分
圏央道 入間インターより車で5分

博物館は市内循環バス「ていーろーど」北コース・南コース2路線の発着所になっています。ご来場の際にはぜひご利用ください。

【開館時間】

午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】

月曜日(その日が休日または振替休日の場合はその翌日)
休日の翌日(その日が土・日曜日または休日の場合は除く)
第4火曜日(館内整理日。ただし、その日が休日の場合は開館する。)
年末年始(12月25日から1月5日)

NEWS-ALIT 次号のお知らせ

ニュースアリット第19号は、平成13年12月1日発行の予定です。

情報提供サービスのお知らせ

ALITでは、下記の方法で『イベント情報』の提供を行っています。

INTERNET ALITのホームページ
<http://www.alit.city.iruma.saitama.jp>

PHONE テレフォンガイドいるま
☎ 0120-81-4894 (フリーダイヤル)
サービスコード: 7866
聞けるエリアが埼玉県と東京都に限られます。



問い合わせ 入間市博物館 ALIT
〒358-0015 埼玉県入間市二本木100番地
TEL 042-934-7711 FAX 042-934-7716